

全国重症児デイスサービス・ネットワーク NPOあいの実主催 シンポジウム

東北にもっと、 重症児デイスサービスを!



対 象

重症児支援に興味のある方全般。事業者の方、行政の方、保護者の方、特別支援学校の先生方、福祉関係の方、医療関係の方など

日時

2017年 **6月17日土**

13:30～16:30 (開場 12:30)

場 所

仙台国際センター 展示棟会議室1・2

定 員

300名 **申し込み** 裏面をご覧ください

T980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山



できるだけ公共交通機関をご利用ください

主催/NPO法人あいの実 TEL:022-346-1730 <http://ainomi.com>

今、重症心身障がい児を対象とした放課後等デイサービスが全国的に不足しています。
東北地方は空白地帯とも言える状態で、一刻も早く支援の手を差し伸べる必要があります。
どうやったらデイサービスを立ち上げることができるのか どう支援したらいいのか
仙台では、手探りながら重症児の支援体制が整いつつあります。
その現状報告と課題、そして東北地方のモデルとしてどのように重症児と向き合っていくかを考えます。



プログラム (予定・敬称略)

13:30 / 開会の挨拶

佐藤奈々子 [合同会社 ヴォーチェ代表]

13:35 / 趣旨説明

13:40 / 白書を読む【前半】お母さんの現状・国の政策

鈴木由夫 [社会福祉法人ふれあい名古屋 理事長]

14:00 / メインシンポジウム～仙台市における重症児支援

田中総一郎 [あおぞら診療所ほっこり仙台 院長]

遠山裕湖 [社会福祉法人なのはな会 理学療法士]

乾祐子 [特定非営利活動法人あいの実 理事長]

高橋博明・邦子・幸太郎 (保護者インタビュー)

千葉伸彦 [東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科 講師]

15:30 / 休憩

15:40 / 白書を読む【後半】放課後デイサービスの作り方

鈴木由夫 [社会福祉法人ふれあい名古屋理事長]

紺野昌代 [多機能型重症児デイサービス kokoro 代表理事 看護師]

16:10 / 閉会の挨拶

村山敦子 [社会福祉法人 七峰会 児童ディサービスキッズ総合施設長]

スピーカー紹介

田中総一郎 先生 あおぞら診療所ほっこり仙台 院長

子どもたちに対する愛情と優しさがしみ出る、すばらしい小児科医。医療の面から見た重症児支援についてお話いただきます。

遠山 裕湖 氏 社会福祉法人なのはな会 理学療法士

全国で障がい児者支援に関わる講演や講師をしていらっしゃる遠山氏。前任の相談支援員としての見地から障がい児支援について講演していただきます。

千葉 伸彦 氏 東北福祉大学総合福祉学部 社会福祉学科 講師

重症心身障がい児をもつ母親のライフストーリーを分析し、重症児の地域生活継続に必要な社会的支援ネットワークのモデルの開発に取り組んでいる研究者です。

鈴木 由夫 氏 一般社団法人全国重症児サービスネットワーク 代表理事 社会福祉法人ふれあい名古屋 理事長

全国重症児デイネットの発起人でもある鈴木氏は、全国を飛び回りながら幾つもの重症児放デイの立ち上げを支援してきました。永田町子ども未来会議にて政策提言するなど精力的な活動を続けています。

紺野 昌代 氏 多機能型重症児デイサービスkokoro 代表理事 看護師

2人の重症心身障害児を育てる母親であり、茨城県ひたちなか市に重症児のためのディサービスを自ら立ち上げたすいお母さん。苦難を乗り越えながら今日に至った経緯をお話いただきます。

全国重症児デイサービス・ネットワーク

全国160以上の事業者が連携

平成24年4月1日より「重症心身障がい児を主たる対象とするデイサービス」事業が認められました。しかし、事業所数は少なく、自治体で判断が異なることも多く、サービス提供に影響がでています。

重症児ケアができるスタッフの確保、医療的ケアが必要な子を受け入れる研修と育成などが必要ですが、単独事業所で行っていくのは難しいのが現実です。事業者同士が協力・連携をしていくことで問題の解決を図り、重症児が全国どの地域で暮らしていても支援できるよう「一般社団法人 全国重症児デイサービス・ネットワーク」が設立されました。

全国を6つのブロックに分け、東北地方は東日本ブロックに属しています。詳しくは<http://www.jyuday.net/> を確認ください。

FAX もしくは
WEBページから
お申し込みください

申込締切

平成 29 年 6 月 〇 日 (●)

お名前

所 属

電 話

参加人数

E-mail

FAX 022-346-1731

※本申込を通じて取得した個人情報については、本シンポジウムの運営に関する業務以外の目的には使用しません。

こちらの QR コードにアクセスいただくと
シンポジウム申込フォームへ移動します。

<http://ainomi.com/>

